



平成17年11月20日
第66号
発行所
田原市
TEL. 3700-9657

号者局
66頁務
発行所
第66号

上戸三丁目五番地

上戸三丁目 三島太郎
南に広がる緑豊かな馬車
公苑「馬の街」。

北に農家の校舎が並び一
画、ここに総戸数二五三戸
の集合住宅「馬車公苑前ハ
イム」があります。

当ハイムも四年前より、
用賀地区町会連合会に加入
しておりますが、管理組合
理事長の任期が一年の為、
長く深い係わりが難しく残
念に思います。

居住者も高齢化（昭和四
十三年築）が進む一方、中
越地震、風速四十メートルの暴風
雨、千葉県北西部を震源と
する東京直撃の地震、相定
外の雨量を記録した集中豪
雨等、自然災害は年々その
激さを増しています。当ハ
イムも可成のダメージを受
けました。

世田谷区防災マップを見
ますと、馬車公苑、農大一
帯は本或避難場所に指定さ
れていますが、災害によっ
て近隣の密着がこの地域に
集まる事のないよう祈るば
かりです。

（馬車公苑管理組合代表者）

生活道路の改善活動

編者三丁目 土肥正宏

私達の地域は三本の幹線
道路に囲まれ、この為に幹
線道路を避ける通り抜け車
が地域内に流入し、交通問
題が生じています。

又、域内に国分寺崖線を
有し緑に恵まれ、教育施設
も多い閑静な地域ですが、
近年、高齢者が絡む事故の
増加等の特徴が見られます。
地域の課題として高齢者
児童、住民の安全確保と、
緑の環境維持が重要と認識
しており、これ等の問題に
対応する為、国交省の生
活道路施策の認定を受け、
地域道路の問題解決に向け
て、地元の方々と共に活動
を行っております。

（瀬田の道路問題を考える会）

防災から減災へ

三丁目 中村祥之

大きな地震が起きた時、
被害を最小限に抑えるため
にどうすべきか。阪神淡路
大震災から多くの教訓を得
ました。

地震に対する日頃からの
備え、初期消火及び救出救
護等の大切さは勿論、防災
初期は行政の支援も届かな
い中で、地域が自分たちの
判断により力でお互い
が助け合い、協力し、生き
抜いていかなければならな
いということです。

私たち玉川町会は、そう
した日頃からの備えと防災
初期におけるソフト面の徹
底に重点を置き、それに必
要なハード面の強化を図り
たいと考えています。

（玉川町会防災委員会事務局）

この町で第二の人生

編者三丁目 鈴木長次

毎朝の通勤地獄に耐え定
年退職し、ゴルフクラブを
銀に換え、改めて用賀の町
を見渡すと色々な事が見え
てきます。

昔は畑一面でしたが、今
は高速道路や地下鉄等が通
り、周辺には緑多い公園も
あり、医療機関も充実し、
マンション、一般住宅等が所
収しと建ち並んでいます。
商店街は昔の面影を無く
し、ゲームセンター、カラオケ、
パチンコ、コンビニ、スーパー等に
変わってきています。

今は町会、神社等の役に
加わり地域の行事に参加し
ていますが、これからもこ
の街に住んで、充実した生
活を送り続けたいと思いま
す。

（馬車公苑管理組合）

自転車と交通安全

用賀三丁目 小林貞二

自転車は、免許不用の便
利な乗り物です。だけど正
しい利用をせず安易な乗り
方をした結果、交通事故に
遭う人も多いためです。

又、道路交通法では軽車
両、車と同様にルールを守
り正しいマナーで安全に乗
りたいものです。

マナーは、歩行者の迷惑
にならないように、交差点
では必ず左右の安全を。
夜間にライトの点灯、
ケータイ使用しながら、片
手運転、二人乗り運転等は
、道路交通法で罰則を科せ
られることもあります。
正しいマナーで乗りましょ
う。

（用賀区自転車対策委員会）

木洩れ日

飯田恭次

今年のカレンダーでも、残
すところ一ヶ月少々……
九月の中小泉劇場は永
田町に色々なドラマを展開
し、政界の若返りと、古い
政治体質を変えろ大きな転
機となりました。

続く、内閣改組、これか
らの国政に関心が高まって
います。

民主主義は多数決が原則
白と黒の二進法、交通信号
の様に黄色信号は無い。

然し、私たち一人一人の
日常生活は黄色信号の連続
、自分の判断で、自分の責
任で、青「進め」赤「止ま
れ」の行動をとらなければ
ならない。

「あの時、本当はこう思
っていたのだ」と悔んでも
後の祭り、結果責任は自分が
負うことになる。

渡る世間は鬼ばかり……
は某テレビ局ホームドラマ
の題名……かつて、子ど
も達は、お茶の間で色々な
言葉を学んだ。

渡る世間は鬼は無い
情けは人の為ならず
正直の頭に神宿る

嘘つきは泥棒の始まり
袖触れ合うも多生の縁
義を見てせざるは勇無き
なり……等々

お金と法律が万能の様に思
える世の中、私たちは心の
どこかに、これらの言葉を
「お守り」として残してお
きたいものです。



回覧

ひろばご希望の方は出張所においてありますので どうぞ

郷土紹介

堅山南風先生と玉川

郷土史家 金長 池田良夫

二子玉川小学校の校長室に、大きな静物画が掛っている。

なにげなく見ているこの作品が、文化勲章を受賞した日本画の大家、堅山南風先生のものであることは地元の人でも余り知らない。

南風先生は、日光東照宮の鴉籠の修復や、法隆寺の金堂の壁画の復元などの業績も有名であるが、日本画の中に鮮やかな日本古来の色を表現した画風でも知られている。

あの大家の作品がなぜここにあるのかの答えが、玉川との絆の源である。昔嘉堂文庫の南側に、治

第7回ふれあいラリまつり

根田小学校 PTA会長 平山 昇

今年の十月は、根田小の子供達にとってイベント続きの月になってしまいました。そのひとつ、ふれあいラリまつりに則実行委員長として、参加させて頂きました。

会場校として、ラリの準備、八月より根田小PTA及び町会、おやじの会、青少年用賀地区委員会の皆さんと、企画会議を重ねて参りました。なにせ初参加の私にとってわからぬ事はばかりで、初めは戸惑いばかりでした。

さて、ラリ当日ですが、低い雲と時折の小雨が降るなかのあいにくの天候になってしまいました。

子供達の出足を、心配し

みんな一緒に

今回、裏方の皆さんの、前日準備から撤収までの、パワーとチームワークには感動しました。来年は、二子玉川小学校で「ふれあいラリ」まつりに開催されます。



母なる河多摩川

五井丁目 酒井博之

かつては、豊かな流れであった多摩川の岸辺で、私は生まれました。

私の育った多摩川は、山梨県塩山市笠取山に水源を発し、中流で浅川合流点、府中、調布、玉川、高津、中原を流れ東京湾に注ぐ、一三八kmの大河です。

玉川町の左岸には、旗争が建ち並び、料理屋の繁盛は、この地の誇りであり、又歳みでもあった。

多摩川の鮎は有名で、徳川将軍に生きたまま御用鮎として献上されたといわれています。

屋形船に、旦那衆と芸者が乗り、蒲鉾がとった新鮮な鮎を食べたといわれています。

だまされないうで！

悪質なりフォーム契約

「無料で来校します」と勧めてきた業者が「このままでは柱が腐り、地震がきたら大変ですよ」と工事を勧め、床下補強や換気扇の契約をしてしまった。

その後、勧められるままに外壁や浴室リフォーム工事を契約してしまった。

だまされないうでに、契約をせかされても即断せず、家族や知人と相談する。

○契約をする前に、数社からの見積もりを取り、比較検討する。

○家族や身近にいる人が見守り、注意する。

○相談は消費生活センターへ。34/006522

(用賀出張所)

わが故郷

屋形船は、柳屋が五十八乗りの柳仁丸、水光亭は砂利舟を改造して造った光鶴丸が五十人乗り、後に新造した潮鶴丸四十人乗りを所有していました。

二つの料理屋の所有していた屋形船は、各々屋根が異っており、屋根の傾斜がきついため、あれは水光亭の船などと屋根を見て判別できました。

対岸は、玉電開業前は、魚屋という料理屋一軒あるのみであったとのこと。

昔の多摩川は、川幅も広く、水深も深く清流で、眺望が素晴らしい川でした。



小春日和、西の市、初霜、木枯し、山茶花、蜜柑山、冬仕度、雪吊、鶴米を暮々日記帳の箱目の冒頭に並んだ季語の数々。こんな色々な表情を持つ霜月も下旬となりました。

今年も国の内外で、大きな自然災害が幾つも起きました。災害は忘れた頃になどと言ってられない程、忘れる間もなく傷ましい情況が次々と報じられました。翻って考えますと、私たちも地震ぐるみの安全のために、備えあれば憂いなしを心掛けたいものですが、備えは備えのままであって欲しいと願うことしきりです。

(折原)